

# 備後教区報

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

発行所

〒720-0052

福山市東町 2-4-5

本願寺備後会館内

教区報専門委員会

TEL (084) 924-5759

FAX (084) 931-9323

発行人

教務所長 高田英彦

## 備後教区にて試行! 全国5ヶ所の教区にて

- 東北・岐阜・兵庫・備後・鹿児島 -

# 「全寺院サマースクール実施計画案」試行

七月二十六日(月)〜二十七日(火)  
川遊び・スイカ割り、山奥に子どもたちの笑い声がこぼれた巨間  
**鴨川北組サマースクール**



八月十七日(火)  
雨が降ってることを忘れるぐらい本堂で楽しんだ  
**御調東組無量寺サマースクール**



八月二十三日(月)  
流しソーメンに屋台、たくさん友達作ったよ!  
**深津組サマースクール**

本堂で力キ氷を食べた

**中組光栄寺サマースクール**  
八月十八日(水)



八月二十七日(金)  
お茶の稽古をみんなでしました!  
**比婆組サマースクール**



4ページに詳細記事...

ご意見・ご要望は paper@bingo.gr.jp へ!

「ものをわすれる」と言う人との出会いが多くなりました。ほんの挨拶程度にする人もあります。「忘れる、忘れた」という人も忘れてもいいことはきちつと覚えていてるものです。

そんな時には「毎日の食事はたいがい忘れないでいただいていますよね。何を食べられましたか」と言うことにしています。今日、朝食はなにを食べたか覚えていきますかと聞くと、「ごはん・みそしる・漬物と：(パン・牛乳：)」と指を折りながら思い出そうと記憶をたどりません。

昨日は、一週間前は、1カ月前は、一年前は？と聞いていくと、「昨日のことを思い出さぬのに、食べ物まで：」と、中にはむつとする人もいます。本当は、わたしの「いのち」を支えてくれているものだから忘れてはならないものでしょうに。しかも食卓に出されたものは、すべて「いのち」なんです。生まれてこの方、数え切れない沢山のいのちを頂いて、今、ここに、わたしとしてのいのちが存在しているのです。食べ物の種類や名前を忘れていても私を生かしてくれている。こんな不思議なことはありません。

手を胸に当ててみると鼓動を感じます。私が寝ている間も…。今日まで何回くらい打ってくれただろうか。吸う息・吐く息を計算したことがありますか。私を精一杯生かそうとして休むことなく働いています。それこそ驚きと感動を覚えずには

生かされている“いのち”

弥陀をたのむ生活



善行寺住職 眞澄瑛智師

おれませんか。

このような悠長な話をして、ええんかいな一と思われるかも知れませんが、危なっかしい世の中だからこそ大切なことだと思ふのです。

二度とない人生・やり直しのきかない人生を精一杯生きたいと思ひながらも、「忘れる、忘

れた」と他人までも巻き込んで、周りの人の顔を気にしたり、いろんなものに気をとられ、過去の過ち・未来の不安に縛られ・おびえ、右往左往しながら、あてのないその日暮らしをしているのが私の現実ではないでしょうか。そうゆうところが立ちすくみ、進んでいく方向すら見失っている私を見かねて、我がこととして常に案じてくださっているのが阿弥陀如来です。

阿弥陀如来は、「わたしがいるよ。喚び声(南無阿弥陀仏)を力とし・よりどころとし・たよりにせよ。歩みはおぼつかなくともいいよ、あなたを決して見捨てることはありません。」  
「わたしの方に來なさい」と招き喚(招喚)び続け、私の生きていく方向を明らかにして、前におしだし、生かしてくださいのです。

親鸞聖人は、『他力といふは如来の本願力なり』(注釈版一九〇頁)(他力の他は阿弥陀如来、他力の力は本願力)と明らかにしてくださいました。

聖人は、『自力』について、『自力といふは、わが身をたのみ、わがこころをたのむ、わが力をはげみ、わがさまざまの善根をたのむひとなり』(一多証文

六八三頁)と、自力の意味をあかしてくださいました。そして、『自力のこころをひるがえして、他力をたのみたてまつれば、眞実報土の往生をとぐるなり』(歎異抄八三三頁)と、「ひるがえして、他力を“たのむ”」ことを親鸞聖人はすすめてくださっています。

ことばの使い方をひとつ。「たのむ」というのは、お願いすることではありません。ここでは、よりどころとする。あてたよりとすると聞いていきます。

“た”は“のむ”に冠して語調を整え意味を強め、又は意味を添える接頭語です。「のむ」は、すなおにのむ・すなおに受ける。という意味です。

一人では生きていけない私が、念仏から逃げていた私が、お念仏申しながらお給仕させてもらっている姿が、おかしくもあり、有難いことでもあります。

念仏行者として、難題多い人生をさまざまに誤解や不合理と正面から向き合い、共に歩ませてもらいましょう。阿弥陀如来の本願力を歡喜信受しながら・・・。

合掌



# 坊守探訪

VOL. 11

## 三谿組・照善坊坊守 福間 裕子さん

(二)紹介・備中里組・浄心寺坊守  
津田治子さん



裕子坊守さんとは、得度で苦楽を共にした仲。お互いの結婚式以来、久しぶりにお会いできることとなり、とても楽しみにやってきました！

Q：得度からもう十数年経つんですね。しんどかったことしか覚えてないんだけど…。

A：ふふっ。でもいろんな年代の人たちと同じ目標に向かっていくという点では楽しかったね。

Q：ほー。何て前向きなお考え！富山からこちらに来られてからの苦労話などを聞こうと思ってただんだけど…。

A：ないわねー。はじめて三次に来たときに、実家の風景と似てたもんだから、何ていいところって思ったの。それに結婚の条件にピットンコカンだったしね。

Q：何ですか。それは？

A：それはね、  
①自然の中で飲んで大丈夫な水(井戸水)がある。  
②私がアレルギーなので、夫とならる人がタバコを吸わない。

③鶏が飼えるような環境。  
Q：それにピットンコなんだ。  
A：そう。しかも素敵な人(住職)って思ったしね。



Q：坊守さんは、まだ子育ての真っ最中ですが、若婦人の会を主にお手伝いされているんですよね。それはどんなことをされてるんですか？

A：司会は役員さんに行っていたいてるんですよ。そしてお勤め、御法話、簡単なゲームをします。念珠づくりや、石に絵を描いたり、日曜学校で使う紙芝居を描いたりもします。

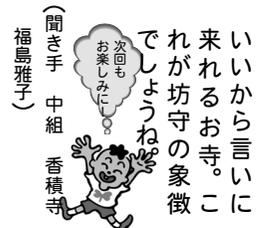
Q：日曜学校を若婦人でしたような感じで楽しそうですね。ところで、一番思い出深い出来事って何ですか？

A：やっぱり、住職継承かしらねー。自分が坊守になるってことよりも、あー夫が若院じゃなくてご院家になるんだ、って思いましたね。でも私が着物を着て、お化粧して挨拶に行ったら、いつもお寺に出入りしてるおじさんに「どちらさんですか？」って言われちゃった。ははっ。普段がすごいからね！

Q：今後の目標はなんですか？

A：目標はね、はつきり言ってみるのもあれなんだけど、父も母も本当にいい人！相談にものってくれるし、愚痴も聞いてくれるし。世話のかかる子が一人増えたって思われるかもね。今は私は名前だけ坊守で、母が全部坊守の役割をしていく感じなんです。「時が経てばできるようになるよ。」と言ってくれるんだけど、今は母の仕事を見ていられる段階。そのうち母のようになれば、ということも、この地でもない、この地の照善坊の坊守になれるってことだと思っんです。

それにうちは、四世代八人で生活してるんだけど、世代を超えて一緒に生活することって大事だと思うの。そしてお寺っていうところで生活しているわけだから、誰から見られてもいいように、仲良くしていきたいですね。何でもいいから言いに来れるお寺。これが坊守の象徴でしょうね。



坊守さんの趣味は苗づくり！

以前より宗門では親鸞聖人七百五十回大遠忌法要のお待ち受けとして、少年教化を強力に推進する計画がなされ、本年度その一環として「全寺院サマースクール実施計画案」の試行教区として備後教区が選定されました。

それを受け当教区基幹運動推進委員会において新しく少年教化推進専門委員会を立ち上げ、少年連盟と連携の上、実動班（実施寺院で子供の指導・進行・補助にあたっていただく方）の結成・養成、教区内五ヶ寺のサマースクール実施寺院の選定など、七・八月の実施に向けて始動いたしました。

今年4月に、本山での説明会を受け、本格的に始動し始めたのが5月に入ってからであります。ちょうどその頃は教区総出で、仏婦大会の準備に追われておりましたが、委員をはじめ連盟役職者、寺院の皆様のご協力により、実施させていただくことができました。

このたび試行にご協力下さった寺院は左記の通りです。

- 第一会場
  - ・ 日 時 七月二六日(月) 二七七日(火)
  - ・ 会場 鴨川北組 正明寺

- 第二会場
  - ・ 日 時 八月一七日(火)
  - ・ 会場 御調東組 無量寺
- 第三会場
  - ・ 日 時 八月一八日(水)
  - ・ 会場 中組 光栄寺

- 第四会場
  - ・ 日 時 八月二三日(月)
  - ・ 会場 深津組 光栄寺
- 第五会場
  - ・ 日 時 八月二七日(金)
  - ・ 会場 比婆組 西念寺

## サマースクール実施計画案試行を終えて… 双方から喜びの声

### 「子どもたち「楽しかった」・ご住職「本堂から子供達の声に感動」

● 第二会場  
 ● 第三会場  
 ● 第四会場  
 ● 第五会場

のもと事故も無く開催できました。スタツフの皆様へ厚く御礼申し上げます。後日、保護者から子どもが仏壇へお参りするようになったと喜んで下さり、子ども達も、来年も参加したいと言ってくれたことが大変有難いことでした。来年も実施したいと考えております。」などなど感想をいただきました。

このたびサマースクールを終

各サマースクールを終えて子ども達から「お寺は怖いとこだと思つてたけど全然違うし、先生がすごく楽しい人だった」「お坊さんって感じがしなかった」「知らない子と友達になれた」「来年もあるなら参加したい」などなど。

えて最大の収穫は子供たちから「来年も来たい」「ご住職から「来年も開催したい」と一様に感想をいただいたこととあります。しかし、「こういった「来年も開催したい」という思いは次の感動があったからではないでしょうか。

子ども達たちが集まらないという過疎化・少子化の問題でしょう。あと、経費の問題、スタツフの問題などなど、このたびもそういった問題が立ちはだかりました。お寺は教化の場であり、様々な問題を前にして無理だと判断せずに、今、この機会に少年教化へ再度目を向けていただき、本堂から子どもたちの声が響く…本堂に子どもたちのお念仏の音が響く…そういった感動を味わっていただければと思います。

からも「過疎化が進む中、予想以上に子ども達が集まってくれ、本堂に子どもたちの声が響いていたことには大変感動した。これからも年に数回、子供たちを集めて活気のあるお寺作りをしたい。」「組内後継住職・ご門徒の方々のご協力

「本堂・境内から子供達の笑い声や楽しそうな声が聞こえてきたことに何とも言い表せない感動を覚えた」との感想を組長・ご住職以外にもお手伝い頂いた方々から多数寄せられました。この感動はまさしく少年教

# 備後教区若婦人専門委員会 「ほほえみの会」発足

## 「若婦人専門委員会発足にあたっての思い」

今の私たちの生きる社会は、何かにつけ競い合い、利害損得、優劣、勝敗、役にたつ立たない……比較され判断されていく社会です。

また、個人の持つ「ものさし」は社会常識、慣習、教育、学問、様々な情報によって作り上げられ、あふれる情報を整理できず情報に埋没し、人間としての姿すら見失い、それぞれが、それぞれを正しいと主張して生きているのではないのでしょうか？

その中で、本来仏様の教えは世代や性別を超えて、私の生きていく心の支えとなるものです。この会は、様々なことを共有しあえる世代の人たちが集まり、現在の各々の悩み、喜び、驚きを語り合い、現代社会に生きる私たちの生き様(地域・職場・家庭)を仏様の言葉の中に問うていく集

まりになればと考えています。

「備後教区仏教婦人会連盟」は来年、連盟結成五十周年を迎えようとしている歴史ある団体です。現在にいたるまで、仏教婦人会の活動はお寺を核として、様々な活動をしてまいりました。

しかし現在、どの活動も活発ではあるが会員の固定化、高齢化、企画のマンネリ化、婦人会自体の有り様等々、が問題となっています。

ご門主様は教書の中で、「宗門の基幹運動は、それらの目標を、人々のふれあいの中で一つひとつ着実になしてゆくとともに展開してゆきます。」とお述べ戴いております。そこでこの度、仏教婦人会の中に若い方々へ広がりをもつ企画を立案していただく会をつくり、新たな動きを起こしていきたいのです。この動きが各組、各单位

へと広がっていけばそれぞれの仏教婦人会の活性化にもつながることでしょう。

若婦人専門委員会  
「ほほえみの会」代表 小柳陽子

今年度、備後教区仏教婦人会連盟に若婦人専門委員会「ほほえみの会」が設置されました。現在十組より、専門委員ができています。

「ほほえみの会」では、浄土真宗のみ教えが私の生活にどうはたらいっているか、どう生きる力になっているかを頭だけで理解するのではなく、私の身を通して学ぶ会になることを目標としています。

たくさんの方と出会い、話し合い、聞き合いながら、創造的にともに教えを仰ぐ場として活動していきたいと思えます。

先生方、先輩の皆さま方にはご心配をおかけしますが、折にふれ、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

### 備後教区若婦人専門委員会 「ほほえみの会」

- |     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 奥   | 浄福寺 | 赤木奈緒子 |
| 深津  | 光行寺 | 前原恵美子 |
| 深津  | 光行寺 | 小林 友子 |
| 沼隈西 | 正蔵坊 | 神谷 輝美 |
| 沼隈西 | 善性寺 | 藤原 典子 |
| 沼隈南 | 光源寺 | 檀上 洋子 |
| 沼隈南 | 南泉坊 | 佐藤由美子 |
| 沼隈南 | 南泉坊 | 岡本 早苗 |
| 沼隈南 | 宝光寺 | 高尾 英子 |
| 芦田  | 明浄寺 | 広中 真里 |
| 三谿  | 立泉寺 | 一條 照代 |
| 比婆  | 妙延寺 | 井田 聖子 |
| 御調東 | 浄泉寺 | 小柳 陽子 |
| 御調東 | 照源寺 | 小川 和江 |
| 御調西 | 法泉寺 | 平畑 千鶴 |
| 御調西 | 善教寺 | 西川喜久江 |
| 世羅  | 西教寺 | 中村 和子 |

# 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要団体参拝

## 備後教区からは十三名参拝!!

本年も九月十八日に東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵墓苑において、宗門の恒例法要の一つである全戦没者追悼法要が、ご門主様ご臨席のもと勤修されました。

### 列衆に釋園義證さん

備後教区からも高田英彦教務所長をはじめ総勢十三名が団体参拝をし、中組光福寺住職釋園義證さんが列衆としてご法要に出動されました。この法要参拝を通して、戦争で亡くなられた多くの方々の思いに心を馳せ、平和について改めて考える機縁をいただきました。

また、前日の十七日は、関東ご旧跡である、稲田の西念寺・板敷山大覚寺をそれぞれ参拝し、関東での親鸞聖人のご苦勞を偲ばせていただくと共に、お念仏のご縁に出会えた慶びを味わいました。その後、バスで三時間ゆられ本州最東端の犬吠崎温泉で宿泊いたしました。翌朝(五時二十二分)海岸線からの日の出を見ることは出来ませんでした。出発時間には良いお天気となり、すばらしい景観と共に築地別院に向かいました。

## 少年連盟指導者研修会

七月十五日(木)、世羅組照光寺において、少年連盟指導者研修会が少年連盟と少年教化推進専門委員会との協催で行われ、教区内の若手僧侶など三十名の参加がありました。

研修会講師は本派少年連盟組織拡充委員会委員(養成委員会前委員長)であり、福岡教区早良組 徳勝寺住職の角道宏先生に「念仏の声をお寺に本堂に」というテーマでご講義をいただきました。

### 念仏の声をお寺に本堂に

角先生の指導のもと、実際に参加者もゲームに参加して、思わず熱の入った盛況な研修会になりました。

また、今回の研修会は、今夏の全寺院サマースクール実施計画案の試行教区として備後教区が選定されたことをうけて、この計画における実働班・スタッフ育成も目的の一つとしており、サマースクールの主な形態やプログラムなどについても研修をいたしました。研修会後も、実働班の熱心な協議が行われました。



# 仏壮夏期研修会

日時 八月二十九日(日)  
会場 御調西組 光徳寺  
講師 同寺院住職 布教団  
副団長 藤田徹文先生  
講題 「お念仏に生きる」

例年を上回る一〇八名の参加のもと、平成十六年度仏壮夏期研修会が行われました。  
午前・午後を通して会場をご提供くださった藤田先生よりご法話をいただきました。



## F M 専門委員会 レディオBINGO 『お坊さんステーション』

レディオBINGO(77.7MHz) 毎週木曜・金曜  
18:10分頃 NOW ON AIR!!

このたびは備後教区内(福山市・府中市・尾道市・三原市・井原市・笠岡市など)の一部の地域で放送いたしております、大反響!レディオBINGO「お坊さんステーション」よりリスナー(視聴者)さんからのご意見・ご感想を紹介いたします!!

※リスナーさんからのご意見・ご質問については、その都度、委員さんよりお答えいただいております。

- ・「子どもの頃からお坊さんの話が好きなんです。なるほどそうだなと心にとめてます 童話もたのしみ」ちるちるさんより
- ・「本当に42歳の厄年にあるのでしょうか? お払いをするとやっぱりよいのでしょうか?」ミルキーさんより
- ・「毎回すばらしいトークに感動・録音して保管しています。宗教 仏様 儀式について 基本的常識を提供いただけることを期待してます。」アン。マサ。シ。さんより
- ・「モラルの低下・犯罪の増加は現代人が宗教を極力排除した結果ですね。私の好きな仏教用語は『因果応報』です。仏教はハイテク全盛の21世紀においても、知恵と力を与えてくれます。」だいちゃんさんより

などなど…その他にもたくさんのご意見やご感想をいただいております! 委員一同法話原稿に追われながらも精一杯がんばっておりますので、是非ともお近くの皆さん! 上記のチャンネルに合わせ委員の皆様の奮闘をお聞きください。

## 第49回 同朋三者懇話会



日時 9月3日(金)  
会場 本願寺広島別院

今回で四十九回目を迎えました同朋三者懇話会ですが、このたびは前回に引き続きまして、「『煩惱論』について」というテーマで備後教区より発表いたしました。今年度は新しく専門委員会が立ち上がっており、新しい委員も多数出席のもと様々な意見が交わされました。

だより



午前中は組勤式推進員・特別法務員対象で杉原勤式指導員より中央研修会からの報告があり、その後、引き続き協議会を行いました。  
午後からは一般聴講可ということもあって大勢の参加のもと日影先生より「勤式集」を中心に講義をいただきました。

- ・日時 七月二十二日(木)
- ・会場 本願寺備後会館本堂
- ・講師 日影晃三先生  
(元勤式指導所主任)

## 春の 教区勤式研修会

### ●門徒総代会研修会

日 時 (南部)10月26日(火) 午前9時半～受付

【会場】神石組 法泉寺

神石郡油木町油木甲 2376-3

TEL 08478-2-0927

(北部)10月27日(水) 午前9時半～受付

【会場】比婆組 妙延寺

庄原市尾引町 337

TEL 0824-74-0531

講 師 高橋廣爾 先生 (山口教区 美祢東組 光明寺前住職)

1933年生まれ。

山口教区布教主事・副輪番を経て北豊、広島、兵庫、帯広、津村別院等の輪番を経歴(2004年4月退任)現在、光明寺前住職、本願寺派布教使。

講 題 『御同朋の社会をめざして』～お寺の屋根はなぜ高いのか～

行事の  
お知らせ!

### ●仏婦若婦人研修会

《南部》日時 11月20日(土) 午前10時半～午後2時30分

《北部》日時 11月21日(日) 午前10時半～午後2時30分

会場 両日とも本願寺備後会館(福山市東町2-4-5 TEL 084-924-5759)

研修会テーマ 「私にとっての浄土真宗とは？」

講 師 清胤祐子先生 (安芸教区 山県太田組 正覚寺)

1964年小倉生まれ。

慶應義塾大学人間関係学科卒業、教育カウンセラー。

1991年結婚 正覚寺に夫婦で入寺。寺報「正覚」、寺子屋、お声明講座、劇団たんぽぽ、たんぽぽ文庫、仏教壮年会等々展開中  
「あなたにあえたから」

講 題

# 事 雑記帳



真宗における墓について

## 墓のない地域

福井県、三方郡三方町の佐古、田名の集落にはお墓がありません。佐古(三十七戸)と田名(二十四戸)は全戸が浄土真宗の門徒であり、現在も各家とも墓や位牌、神棚はありません。

鬼門などの方位や大安、仏滅などの暦を問わず、友引にも葬儀はいと生まれま

す。四百年以上前から人が死ぬと集落で火葬し、お骨にすると、佐古では三年、田名では七年の年回法要まで家の仏壇においておき、その後すべて大谷本廟の明著堂、親鸞聖人のお傍に納骨するので。しかし、これはこの地方に限ったことではなく、かつては真宗門徒の殆どが墓を持たず、俱会

一処と親鸞聖人のもとへ遺骨を運んだのです。墓を持つ現在もその一部を大谷本廟に納骨するのはその流れを汲んでいることです。

さて、墓碑が盛んになってきたのは江戸時代の中期以後、檀家制度が確立してからのことで、広く一般民衆が墓碑を建てるようになったのは明治維新の四民平等の布令以後のことです。家の自立化が進み、個家の分化、独立を広く社会に認知してもらおうというのが大きなき要因であると言われています。

しかし、因幡の源佐同行で知られる願正寺などでは今も僧侶、門徒とも個人の墓は持たず、供に願正寺の集合墓に納骨されています。真宗の宗義からいえば、前述の二例は理想的であります。もっと言えば親鸞聖人は「其親鸞閉眼せば加茂川に入れて、魚に与うべし」と言われているよう墳墓を設けるお考えはなかつたでしょう。しかし、長年のご教化を慕う門弟達には、当時、遺骸の捨て場であった加茂の川原に聖人の遺体を投げ

ることができなかつたのもうなすけます。

その後、廟所が建ち、そこから本願寺へと発展します。

## お念仏に出遇うところへ

み跡を慕う者たちが思いをはせる場となり、聖人のよろこばれたお念仏のみ教えに遇わせて頂く場となったのです。思うに今、墓のある、なしにとられるのではなく、そこに赴く我々が何に遇わせていただくかを問うべきではないでしょうか。

讃岐の庄松さんは病床にあつて、見舞いに来られた市蔵さんにこう言っています。

「おれは死んでも石の下にはおらぬぞ」と。死んで墓の下に居るのではなく、浄土に参り、如来さまとともにあなたを見守り、はたらくのだからということでしょう。墓もまた先に生まれん人を偲び、如来さまのおこころに遇わせていただく場と頂くばかりです。

『親鸞と真宗』(読売出版社)には「墓のない村」と題して佐古、常德寺のご門徒の声が

記されているので一部を紹介します。「お骨はどこへいこうと、そんなことは関係ないこと。本山へ納めたら親鸞聖人といっしょや。お骨にはこだわっておらん……(中略)……墓をこしらえてわるいものではないが、こしらえねばならんというものでもない……三宅操さん(六三歳)。

今井嘉四郎さん(七一歳も「あそこ(墓)におやじやおふくろが生きたるといふ考えはない」といった。

すると先祖とはどんな存在なのだろう。「尊ぶべき人で、たのむべき人ではない」と何人かから聞いた。

お盆と春秋の彼岸へは寺へ参るが、「とにかく阿弥陀如来さんへお参り、お礼するので、お骨にお礼するのではない。こつちから回向するのではないのだから」と、先の三宅さんがいう。

「こつちからわしがようしようという我をだすことにはない。阿弥陀さんが救うて下さるから安心するだけや。」

勉強会

研究会

教化活動

その他

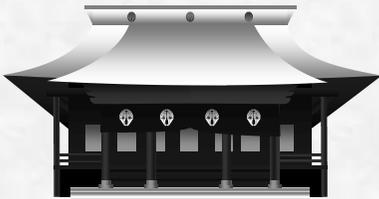
『聖典勉強会』

分野一勉強会

# わいのみのみ



その2  
聖典勉強会



『聖典勉強会』分野一勉強会  
今回お届けするのは備後教区御御西組光徳寺の『聖典勉強会』です。

備後教区布教団副団長で光徳寺御住職藤田徹文先生をご講師に毎月開かれています。

この勉強会には、備後教区以外に安芸教区の門信徒・僧侶の方々も多く参加されています。毎回五十人くらい参加です。

この勉強会の特徴は御門徒の方々が和讃(親鸞聖人のお歌)、親鸞聖人御消息(お手紙)など浄土真宗の聖典にじかに触れていらっしゃる事です。

勉強方法は、全員で声に出して聖典を読みます。そして、その説明、味わいを先生がお話されます。

### 記者より

最後にお茶と先生が布教先から持ち帰られたお土産(全国名産品)を頂きながら談話会質問コーナー、そして仏讃で終わります。

備後教区内では活気のあふれる勉強会の一つではないでしょうか。

一年間皆勤受講をすると藤田先生の本をいただけるみたいですよ。

近頃よく「専門用語を使わないで布教を…」などといいますが、やはり親鸞聖人より伝わる言葉の重みを学びながらお聴聞したいものです。では、質問! 次の真宗独特の言い回しどれくらいわかりますか?

- 1、他力
- 2、機法一体
- 3、信心正因
- 4、後生の一大事

## 全国寺族青年野球大会

去る九月六日、京都府宇治市山城総合運動公園太陽が丘野球場にて全国寺族青年野球大会が開催されました。備後教区からは、備龍会野球部A、Bの二チームが参加しました。

試合は両チームとも初戦敗退と残念な結果となりましたが、Bチームは開会式で新門様ご臨席のもと選手宣誓の大役を頂くなど、よろこびと悔しさ、両面において非常に思い出深い大会となりました。



選手宣誓は、備後教区Bチーム



浄土は死ぬということがあっても 生き抜く道を開く

-不可思议-

当り前の事は何一つなかったということ

皆さんの心に響いた言葉を教務所までお寄せください



## 教区月報

### 7月

- 2日 勝如上人三回忌法要
- 2日 仏婦大会慰労会
- 5日 賦課基準等調整常任委員会
- 8日 ビハーラ総会・公開講座
- 9日 教区勤式練習会
- 10日 若婦専門委員会(ほほえみの会)
- 11日 会館常例法座(箱田義信師)
- 12日 門推世話人会・基推第三部会
- 12日 教区報専門委員会
- 12日 基推正副委員長会議
- 14日 教区会本山参拝
- 14日 基推第一部会
- 15日 少年連盟指導者研修会
- 15日 サマースクール指導者養成研修会
- 15日 // 実動班会合
- 16日 護持口数調整委員会
- 21日 仏婦大会印刷・記録部門会議
- 22日 組勤式推進員・特法協議会
- 22日 教区勤式研修会
- 23日 組長会
- 26日 鴨川北組サマースクール
- 27日 仏婦役員会
- 29日 まことの保育大学講座(山口)
- 30日 常備会

### 8月

- 11日 会館常例法座(高田英彦師)
- 17日 御調東無量寺サマースクール
- 18日 中組光栄寺サマースクール
- 20日 護持口数調整小委員会
- 23日 深津組サマースクール
- 27日 比婆組サマースクール
- 29日 仏社夏期研修会(御調西組 光徳寺)
- 30日 教区報専門委員会
- 31日 仏婦大会最終実行委員会
- 31日 同朋三者懇専門委員会

### 9月

- 1日 賦課基準等調整常任委員会
- 3日 同朋三者懇話会(広島)
- 5日 若婦専門委員会(ほほえみの会)

- 6日 組織教化活性化専門委員会
- 10日 少年教化推進専門委員会
- 10日 教区勤式練習会
- 11日 会館常例法座(平山義文師)
- 14日 第1部会(平和のつどい会場視察)
- 15日 護持口数調整委員会
- 24日 寺婦三役会
- 27日 賦課基準等調整常任委員会
- 28日 仏婦役員会
- 30日 常備会
- 30日 災害対策委員会

### 10月

- 1日 サマースクール実動班反省会
- 4日 仏婦ダーナ委員会
- 4日 組長研修旅行(長崎 4日まで)
- 6日 連研のための研究会
- 7日 臨時教区会
- 8日 寺婦勉強会
- 8日 教区勤式練習会
- 11日 会館常例法座(佐藤知水師)
- 16日 ほほえみの会研修会(円超寺 17日まで)
- 18日 会館責役・門徒総代会

- 19日 秋の教区勤式研修会
- 20日 平和のつどい(くい文化センター)
- 21日 少年教化推進専門委員会
- 21日 少年連盟役員会
- 22日 賦課基準等調整委員会
- 26日 門徒総代会研修会【南部】(神石組法泉寺)
- 27日 門徒総代会研修会【北部】(比婆組妙延寺)
- 28日 仏婦・寺婦基幹運動研修会
- 31日 常備会

### 11月

- 2日 ビハーラ研修協議会
- 5日 災害対策委員会
- 11日 会館常例法座(千葉隆盛師)
- 16日 勤式練習会
- 20日 仏婦若婦人研修会(南部)
- 21日 仏婦若婦人研修会(北部)
- 30日 会館報恩講

### 12月

- 8日 仏婦推進者養成研修会
- 11日 会館常例法座(真澄慎一師)
- 28日 午後より宗務納め(7日まで)

今後の予定

# 本願寺備後会館 報恩講勤修のお知らせ

報恩講の季節が近づいて参りました。  
本年度、本願寺備後会館報恩講を下記の通り勤修いたします。  
皆様お誘い合わせご参拝下さいますようお願い申し上げます。

日時 11月30日(火)

日中 10時～

速夜 13時30分～

※お齋をご用意いたしております。

会場 本願寺備後会館 本堂

講師 豊島学由先生(本願寺派布教使)

## 前号の訂正とお詫び

前号の裏表紙(得度許可)に左記の通り誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 太田垣 聖行(聖行)

(正) 大田垣 聖行(聖行)

## 得度許可

おめでとうございます!!

(敬称略)

比婆組 巴正寺

伊達 晃史(勝道)

(平成十六年七月三十日付)

御調西組 専福寺

龍山 智海(智海)

世羅組 巴流寺

玉井 寿尚(寿尚)

(平成十六年八月十一日付)

## 敬 弔

お悔やみ申し上げます

(敬称略)

三次組 常順寺

前住職 高橋 隆英

(八月九日叙)

三谿組 明玄寺

住職 法宗 玄教

(八月十九日叙)

芦田組 西福寺

会館責役 教区会元議長

前住職 山名 浩明

(九月二日叙)

世羅組 上能寺

前坊守 松尾 アヤコ

(十月二日叙)

沼隈南組 宝福寺

前坊守 延廣 セキ)

(十月七日叙)

## 香典返礼

ありがとうございます  
ございます

芦田組 西福寺 様より

香典返礼を頂きました。

## 編集後記

お盆も過ぎ、お彼岸も過ぎました。自坊では在家報恩講参りが始まりました。最近ご門徒のお宅を訪問中に目に付くのは、先の「宗祖七〇〇回大遠忌」のお扱いと思しき、御影堂内陣本間の写真額であります。五十年近くご門徒のお仏間を見守り続けた額であります。

御影堂平成大修復の屋根工事もほぼ完了したようであります。平成二十三年の「七五〇回大遠忌」も刻々と近づいて来ています。大乗十月号では教区相談員の坂原氏が、過疎に喘ぐ教区北部より「お寺も浄土真宗も要らない」との門信徒の痛切な声を伝えておられました。報恩講のお勤めに歩きながら、五十年の時の流れと、そして自らの至らなさを切々と感ずる日々であります。